

令和元年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	理数科説明会・模擬授業
期 日	令和元年8月20日（火）
会 場	長岡高等学校 小体育館・教室・生物実験室・物理教室
対 象	理科や数学に興味のある中学生及びその保護者
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に本校理数科についての理解を深めてもらう。 ・実際に、中学生に高校での理科や数学の授業を体験してもらい、理数分野への興味・関心・意欲を高めてもらう。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校紹介および理数科の説明 ・理科（物理・生物）、数学の授業体験（理科の授業は生徒が行いました。） ・本校理数科1，2年の生徒との懇談会



学校長からは学校全般を、理数科主任からは理数科の詳細を説明しました。



高校における数学 A、数学 B の授業を体験し、グループ学習などをしてもらいました。

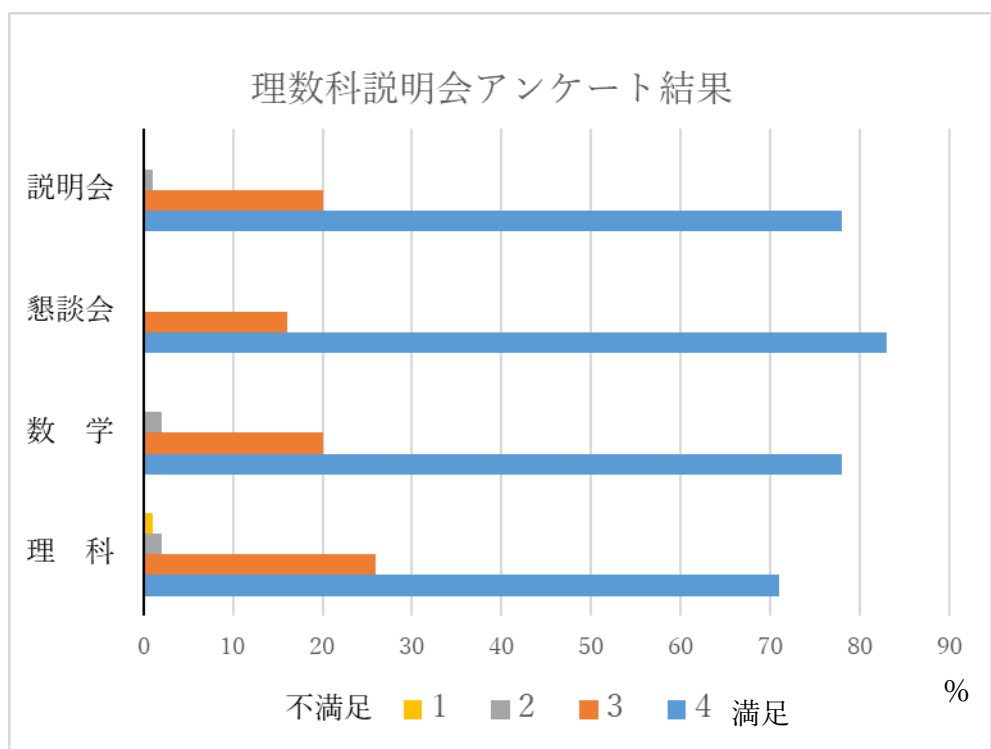


理科では、生物部によるニワトリの心臓の解剖、物理選択者による台車の落下に関する模擬授業が行われました



理数科 1,2 年生が、理数科での生活やアメリカ研修の様子を紹介しました。その後、6、7人のグループに分かれて中学生からの質問に答えました。

アンケート
評価



感想など

【 中学生から 】

・普通科理系と異なる点やサイエンス・メディカルコースの特色や魅力がとても良く伝わってきました。研究やアメリカ研修、大学や病院への訪問など充実した行事の数々にとても驚きました。自分自身を伸ばしながら仲間と協力し競い合えるこのような環境で学びたいと思いました。

・数学の面白さや規則性・法則などを実感することができました。また、班活動をとおして仲良くなり、問題が解けたときの達成感を一緒に味わうことができました。

・いきなりニワトリの心臓の解剖ということで、とても本格的な授業だった。心臓の構造が複雑で分からないところがあった。でも、高校生の方々に聞くと、分かりやすく優しく教えていただきとても嬉しかった。

【 保護者から 】

・学校に通うことが“大人になるための訓練”というところに惹かれました。勉強だけではないということがこの一言でよく分かった。

・アメリカ研修についての説明がわかりやすかった。先輩の質問タイムとても良かった。生徒さんの生き生きした表情が印象的でした。

・在校生からの話が中学生には一番響くと思いました。みんなとても食いついて聞いていましたし、受験までのアドバイスがとても良かったです。

